

パシフィックモダンホームズ社製「オースチン」を土地スペースに合わせやや縮小してオーダー・輸入した。1階はガレージと仕事場、2階は趣味&集会スペース。延床面積は約28坪。



Enjoy Garaging

家族全員で力を合わせて完成!
本格アメリカンガレージハウス。

田畠さん 三重県

キットガレージとしてはかなりの大型となる
2階建てのガレージハウスを、
家族とご近所の仲間とで協力して完成させたという
三重県熊野市の田畠さん。
アメリカ式のガレージハウスを造っていく楽しさと、
どう活用しているのか、
その様子を拝見させていただいた。

photo / Keigo-KIMURA (木村圭吾)
text / Kota-TAKEUCHI (竹内耕太)

DATA

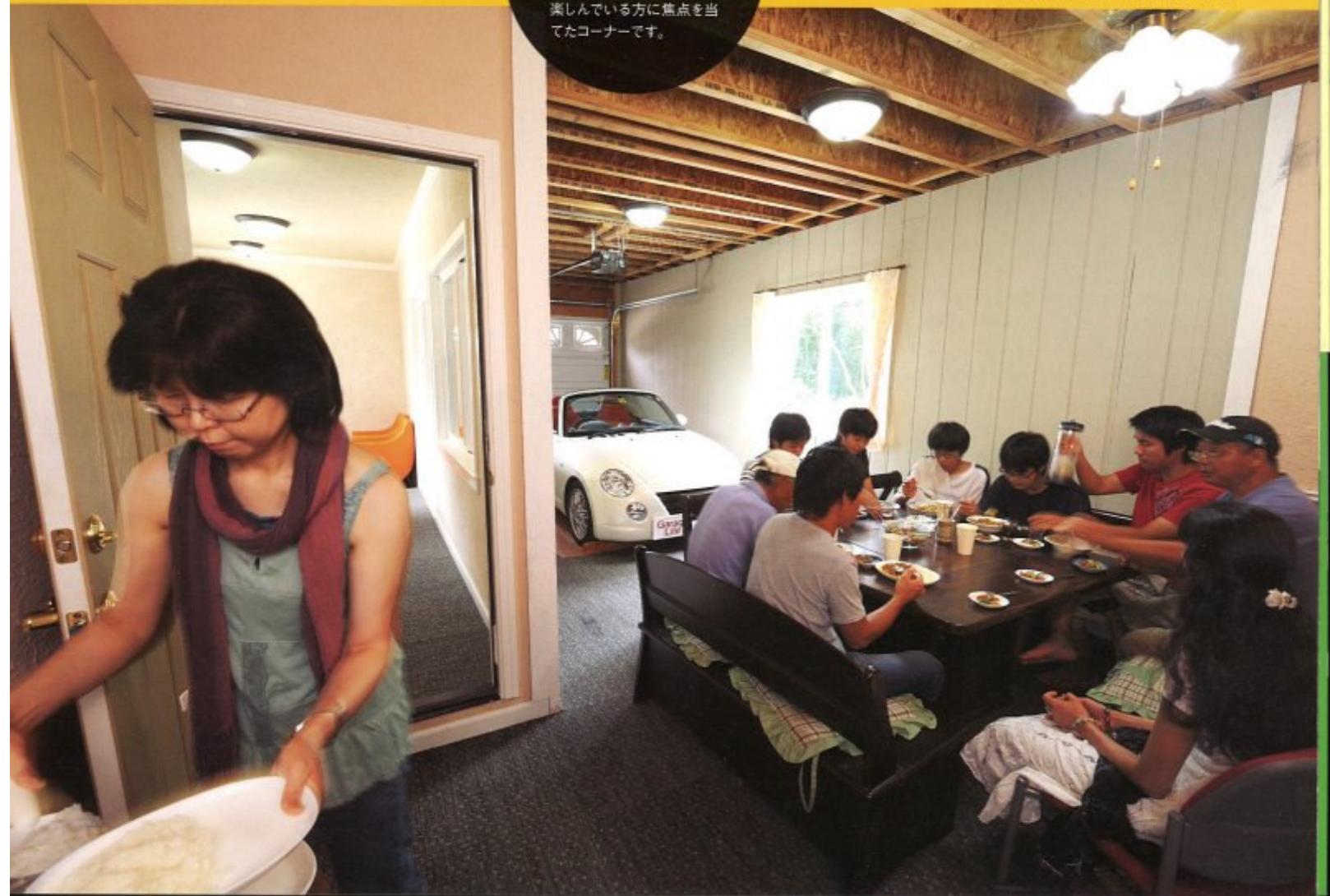
- 構造●2×4
- 外装●サイディング
- 内装●ジョリパット
- ガレージ面積●約25m²
- 愛車●2009年式コペン

編集スタッフが
おじゃまします!

Enjoy Garagingとは?

このコーナーはガレージとい
う器を自分仕様に改造し、
ガレージライフを思いっ切り
楽しんでいる方に焦点を当
てたコーナーです。

ガレージでクルマを眺めながらカレー/バー
テイク。取材日は炎天下だったが、ドアと窓
を開めるとエアコンがきちんと効いて、実際に
快適な屋内空間だったことを明記しておく。





上／構造部分は米松(ダグラスファー)製で耐久性に優れており、断熱材は住居用のグレードを多めに使用している。躯体部分の立ち上げまでだけプロに任せ、塗装などは極力自力で。左／外壁やガレージドアは統一した色でペイントし、あまりの楽しさに作業ははかどったとか。アメリカ製オーバーヘッドドアの前は浜砂利と石畳で熊野古道のイメージにした。

みんなでワイワイDIY作業、
ちょっと失敗！も楽しさのうち。

——こんにちは田畠さん！ お邪魔します！

田畠「こんにちは！ 今日はガレージ造りと一緒に手伝ってくれた代理店の長谷川さんや岡村さんも来てもらっていますよ」

——2階建てのキットガレージ、実際に目にして見ると本当に大きいですね！ ガレージ前のアプローチもDIYで？

田畠「外構を中心に手伝ってくれた岡村さんのアイデアで、敷石と砂利を使ってアレンジしました。熊野古道ってこんな雰囲気なんですよ」

岡村「もう少ししたらクローバーが生えてくるね」

——1階はガレージとお仕事の事務所で、間仕切っているんですね。

田畠「そう。生命保険の代理店をしているんですが、やはり専用の事務所を建てたいと考えていて、どうせならクルマを入れるガレージも欲しいと。オフィスとガレージの間に窓を設けてクルマを見通せるのは『ガレージライフ』を参考にしました」

——キットガレージにしようと思ったきっかけは？

田畠「自宅の敷地内に土地はあったんですが、在来工法だとコストがとにかく高くて。『アメリカンリゾートホーム』の北川さんに相談したら、セルフビルトでうまく建てれば半分くらいのコストで収まることが分かり、子供たちも手伝ってくれるということで」

長谷川「最初に話が出てから半年くらい、電話でかなりの頻度で相談されて詳細を煮詰めて。アメリカから部材が輸入されてからは早かったです」

——どの位まではプロに任せられたんですか？

田畠「3月頭に基礎をやってもらって、部材が運ばれてきてから壁や屋根などカタチができるまでは数日、1週間後にはサッシなどもできた。地元の大工さんだと2×4のやり方が分からないので、長谷川さんたち代理店の人がフォローしてくれました。そこからは、家族みんなでワイワイと造作を仕上げていきました」

奥さん「日本の住宅だと何も手を出す所がないけど、輸入のキットハウスだから塗装など自分たちでする

部分が一杯ありました。母屋とは別だから期限に追われずに、ぼちぼちと手の空いた時に作業できましたね。モールなどもいくつか手本を見せてもらって、後は自分たちで」

——お子さんのお友達も手伝ってくれたんですね。圭一さん(長男)「最初は父に急に頼まれて手伝うことになりましたが、やっていると段々楽しくなってきて。いつの間にか、どんどん自分たちから進んでやるようになりました」

田畠「家を塗るなんて普段なかなか刷染みのない感覚でしょう。子供たちもすごく面白がって『塗料切れたから早くちょうどいい』って、どんどん塗れた」



ガレージはいきなり純正數
き。「晴れた日しか乗らない
から大丈夫」とのことだ。ク
ルマの周囲は外壁と同じ
サイディングにして、半ば屋
外という演出をしている。

Enjoy
Garaging





2階にはアメリカ製キッチン、オーディオ、プロジェクター、パソコン、ゲーム機など、奥さんもお子さんも仲間と一緒に楽しめるマルチベースだ。

——内側のジョリバットもみんなで。

田畠「長谷川さんらのお勧めで、これも自分たちで遊び半分、手塗りで始めたんですが、これがヒドい仕上がりになってしまって(笑)」

——手塗りというと……？

田畠「素手で直接、指で模様つくって」

長谷川「良い味が出ていたと思いましたが……(笑)」

田畠「さすがに手で塗った所は全部やり直しました。コテを使ったりブラシでこすったり、場所によって模様が変わっていますが、そこは素人のミックスということで」

——ガレージの奥が談笑スペースで、クルマのスペースからずっと絨毯敷きになってますね。

田畠「半分、外のような感じで。今はまだ綺麗だから靴を脱いでますが、そのうち汚れてきたら土足で出入りするようになります」

奥さん「この絨毯も本当に安かったもんね」

——クルマが出入りする時に土や砂の汚れが気に

なりませんか？

田畠「ここに置いておくクルマは晴れた日しか乗らない趣味のオープンカーですし、ちょっとくらいホコリが入ってきても気にしない」

——その気になったらまた張りかえればよしと。

田畠「そこは、アメリカの大ざっぱな感覚が良いかなと思ってますね」

——実際お邪魔させていたたいて、暖炉前でクルマを眺めながら談笑するのはくつろぎますね。

奥さん「完成してからしばらくは嬉しくて、毎日ここでご飯を食べてました」

田畠「ここは半分、屋外のつもりで。ガレージのドアを開ければ中庭のような感覚ですし、室内として使う時はガレージドアを閉めて、オフィスの窓とドアを開ければクーラーも効きますから」

長谷川「ガレージと生活スペースの分け方で、このやり方は田畠さんのオリジナルですね」

——想像していた以上に快適で、外の道路の音も全然気にならないです。

長谷川「このガレージハウスは居室に近い使い方のプランなので、断熱材のグレードや二重窓など、日本の長期優良住宅として必要な省エネ等級をクリアしています。住居としても十分に使えます」

田畠「キッチンもトイレもあるし、寝るとこ用意したら本当に住めますよ」

——2階の部屋はキッチンあり、パソコンあり、ゲームあり、プロジェクターありで、何にでも使えそうですね。

田畠「上の部屋は子供たちの遊び場にも、近所の仲間との集会所にも、何でも使えますよ」

奥さん「趣味の物を作る人がいればここで作って教えてもらえばいいし、料理もここで試食会などできますし、いろいろ使えます」

田畠「家の中だと遠慮があるかもしれないけど、ここなら気兼ねなく入りしてもらえて、会話を弾みますね」



左／デスクは事前にインターネットで出物を買っておいたもの。当初は2階もオフィスだけのつもりだったが、プランしている間に使い道のイメージが膨らんでいったそうだ。

右／アメリカ製の大きなシステムキッチンや食洗機なども、プランに組み込んでキッチンの部材と一緒に日本へ輸入することで、驚くほど低コストに抑えられたという。

PLANNING DATA & MATERIALS



暖炉のある側の壁は、ジョリバットを厚めにして大きめのブラシで模様をつけ表情を出している。素人ならではの不均一な仕上がりも、味として雰囲気よくおさまってしまう。



洗面台はホームセンターで購入するなど、インターネットやホームセンターをフルに活用してコストダウン。モールも手本だけプロにお願いし、後は自分で取り付けた。



上／暖炉は正規のオプションで本物で、周りのレンガタイルは国内で調達し、一通り貼り終えてから入れ違いにしていけば良かったと、ちょっと反省ポイントだそうだ。
下／クルマのタイヤ下には、知り合いの木材屋さんが勧めてくれた合板。表面が洗濯板のような波型に仕上げで、すべり止め効果が抜群。サイズもジャストフィットだったとか。



半ば屋外、半ば屋内で気楽に
人が出入りできるのがガレージの良さ。

田畠ご夫妻を中心に、左は3人の息子さんとそのお友達。奥さんの右の女性は、この日のランチにネパール・カレーを持ってきてくれた友人のサブコタ・ジャヤンティさん。



田畠さんのガレージハウス造りを要請されたサポートしたのが、パシフィックモダンホームズ社東海地区代理店の長谷川剛さん(左)と岡村洋助さん(右)。

*Enjoy
Garaging*

PLANNING DATA

所在地●三重県

施工主●田畠 吉啓さん

竣工●2010年7月

構造●2×4 2階建て

ガレージ面積●約25m²

材料費●約450万円(運搬費、キッチン含む)

建坪費●約300万円(基礎工事まで含む)

収納庫両●2009年式コベン

OWNER'S CHECK

■一番気にいっているところは?
デザインやコストもそうですが、特に使い勝手の良さや機能性など、完全に家と言えます。代理店の方が快く協力してくれたのも心強かったです。

■ちょっと失敗したところは?
初めてのジョリバットを遊びながら塗っていたらバラバラの仕上がりでした。最初はコテでなく手で直接など、今思えば考えられないことをしていました(笑)。

■次の夢はなんですか?

これはこれとして、別の場所でさらに大きなアメリカンハウスにトライしてみたいです。

■読者へのアドバイスを!

キットガレージは自分で手をかけて、自由に好きなようにできるのが楽しい!お勧めです!今回は何も知らない素人でしたが、家族中心に完成させました。工務店などに頼るよりも格安に出来た情報を、希望があれば生の声で伝えたいと思います。

copen@i.softbank.jp

COMMENT FROM A PACKAGE HOME SUPPLIER

アメリカンリゾートホーム

(パシフィックモダンホームズ日本事務所代表)

北川 保さん

田畠様は本場のアメリカンガレージハウス1棟分をパッケージとして購入し、施工指導員のアドバイスによって、ご家族全員のDIYで完成されました。オリジナルデザインは、アメリカのパシフィックモダンホームズ社の「オースチン」で、施工の現場スペースにサイズを合わせて小さくアレンジしました。全てをDIYされる方、ちょっと車門家のアシストがほしい方、全てを任せたい方、それぞれに対応した施工のプロが、お客様の必要と希望に応じて協力できる体制がありますので、何でも気軽にご相談ください。なお、この生涯保証グレードのアメリカンガレージドア(2.4m×2.1m)と電動オープナーとりモコンのセットだけでも21万円で販売しています。

東京都町田市広津3-28-9

Phone:042-708-0871

<http://homepage1.nifty.com/arh/>

<http://www.pmhj.jp/>